

令和4年度

2023.1.26

大山保育園年中児保護者会

～保護者の皆様からの質問に答えて～

中根橋小学校 校長

4歳児のクラスの保護者会でお話ができることが大変うれしく思います。

私は今まで世田谷と板橋区の別の小学校で校長をしていました。以前の学校でも保育園でお話をする機会を頂きましたが、いずれも年長児クラスでした。

今日のように4歳児ですと小学校入学まで1年間あるので、この時期に上手な親のかかわりでお子さんに大きく力を付けてあげることができます。

事前に頂いた質問を中心にお話をします。今日、ご参加の皆様の期待に応えられるようにお話を進めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今朝も－3度と、とても寒い朝でした。この寒さ、皆さんはどんな工夫をされたでしょうか？人間は環境に適応することで生きてきました。気温の変化も、それぞれ工夫をして適応しています。

お子さんが、小学校に入るということも新しい環境への「適応」です。適応と言うと、少し難しく思うかもしれませんが、「慣れる」という言葉がふさわしいでしょうか。学校に慣れるための準備期間がこれから始まる年長さんの一年間だと考えてください。お子さんの適応力を高めることが、親としてできることだと思います。

さて、適応力を高めることで一番大事なことは、自分の感情のコントロールだと思います。感情が爆発する「切れる」という

言葉があります。小学校の教室でもそんな行動する子がたまに見受けられます。大声でわめく、時には暴力を振るったりする。そうした行動で自分の意思を通そうとしたり、気持ちを晴らそうとしたりする。

しかし、周りの子供たちにとっては迷惑なことは間違いありません。教室は一つの家庭のようなものです。例えば、家で暴れるお父さんがいたら嫌ですよ。それと同じように自分の気持ちをコントロールできない子がいると学級の雰囲気が悪くなります。また、その子自身はいろいろなところでトラブルを抱え、学校生活がうまくいかなくなり、どんどん自己肯定感が下がってしまいます。

小学校に限らず、社会でも自分の気持ちを上手にコントロールできることが大事だと思います。コントロールというとちょっと機械的ですが、うまく折り合いをつける。「まいいか」と思って、一時的に納得する、心に折り合いを付けるのです。今日の寒さはどうすることはできませんでした。寒さに文句をいっても仕方がない、人は寒さに折り合いを付けています。

子供も学校や家庭の中で思い通りにならないときは、代わりとなるものを見付けたり、気持ちを紛らわしたりして、その一時的なマイナスの感情をできるだけ穏やかに収めることができればよいと思います。

子供たちは、保育園や家庭の中で起きるさまざまな事を通して、心の折り合い方を

身に付けます。それには大人のサポートが必要です。感情のままに行動したりすると本人にとっても、まわりにとってもよくないことです。この一年間で気持ちのトレーニングをしていただきたいと思っています。

このトレーニングは、お子さんの話を聞いてあげることです。うれしい、悲しい、つまらない、落ち着かないなど、その時々の気持ちを言葉にさせて聞いてあげることです。例えば、「遊びの仲間に入れてもらえなくて、いやだったんだ。」と発した言葉をそのままお子さんに戻してあげることです。そして、その気持ちに共感して、「仲間に入れて欲しかったんだね。」と肯定的な言葉に置き換えてあげます。次に、「どうすれば入れてもらえると思う。」と問いかけ、解決策を一緒に考えるのです。この一連の親子のやりとり、会話によって、お子さんは気持ちの整理ができます。そして、例えば、遊びの仲間に入れてもらうやりとりを親子でロールプレイ（練習）をするともっと素晴らしいです。

Q: 入学までに準備すること（生活習慣・揃えるもの）を教えてください。

A: 新1年生保護者会で詳しくお話します。

Q: 学童保育についてどんな仕組みで運営されているか具体的に知りたいです。

A: 板橋区では、学童保育は「あいキッズ」と呼ばれています。世田谷区では「BOP」と言いました。自治体によって固有の名称を付けているところもあります。あいキッズの所管は教育委員会ですが、運営しているのは、選定された法人な

どです。学校との連携はありますが、組織は別となっています。

新1年生保護者会であいキッズから話があります。その他、お聞きになりたいことは直接、お問い合わせください。

Q: トイレは洋式ですか、和式ですか。

A: 本校は全部洋式です。

Q: 1週間の流れはどうですか。

A: 国から一人一台のタブレットが配られ、授業で活用されています。1週間の流れは、皆様の小学生時代とほとんど変わっていません。

Q: 保育園と小学校で過ごす時間の長さや1日にすることが大きくかわるので、子供がついていけるか不安です。

A: 1年生が学校いる時間は、8時15分から14時30分くらいです。そのため、園にいる時間の方が長いかも知れません。しかし、保育園に通っていた子はあいキッズにも行くことが多いので、朝8時から夕方6時までおよそ10時間を集団の中で生活することになります。集団でいることは、お子さんにストレスがかかります。家に帰ってきたら、心と体をゆっくり休ませてあげてください。ゲームやテレビは休むどころか刺激を受けることになり、1日の疲れを癒すことが難しいです。できるだけ、ぼーっとする、親子で話すなどして過ごせることが理想です。

Q: 就学前に身に付けておいた方がよいと思われる生活習慣はありますか。

A: これらは保育園でもう身に付けていることになりますが、自分の力で着替えが

できる、給食を食べる、持ち物の管理ができることです。

Q: 入学までにどこまでできるようにしたらよいですか。(文字、読み書き、数字、時計、生活習慣など)

A: 自分の名前が読めて書けるだけで十分です。それ以上は求めません。

それよりも遊びを通した体験をできるだけして欲しいと思います。幼児の間に体や手を使った活動が大事です。ぎこちない動きの子供はバランスが悪く、いろいろなところで苦戦する姿が見受けられます。特に指先の器用さは、学習に大きく影響します。

- ・鉛筆を正しく持つ
- ・はさみで切る
- ・のりを上手につける

などがスムーズにできないと、どうしても学習に遅れがちになり、やる気をなくしてしまうものです。学校では頭で考えることはもとより、書いたり作ったりの表現が求められるからです。

机に向かった学習や早期教育はいりません。感性や情緒を育むことを大切にしたいと思います。

また、お子さんへは肯定的な声かけを是非お願いします。叱ることや乱暴な言葉は極力控えてください。1年生で友達に対して、人を馬鹿にする言葉を使う子がいます。その子は、乱暴な言葉の環境で育ってきたのでしょうか。言葉は大切な教育環境です。

Q: ご飯を食べるのが遅いですが、ご飯を食べ終わらないと昼休みに入れないなどのシステムはあるのでしょうか?

A: 絶対にこれだけ食べなければいけないということはありませんし、ご飯を食べ終わらないと昼休みに入れないことはありません。

コロナになって、給食はグループになることもなく、前を向いて黙々と食べています。おしゃべりすることがなく集中して食べるようになり、よく食べるようになりました。しかし、ご家庭では会話をしながら楽しく食事をして欲しいです。その際は、テレビを消し、食事に集中できるようにするとよいと思います。

Q: 保育園と違う集団生活に対応できるか若干不安があります。

A: 大人でも新しい環境はストレスです。私も4月に中根橋小学校に転任してきました。緊張や不安はありました。しかし、だんだん慣れてきました。「だんだん」がポイントです。新しい環境は少しずつ慣れていくもので、1年生もストレスを感じながらも慣れます。しかし、大人と違って子供は1年生になったという喜びが大きく、乗り越えるのは早いです。親が心配するより適応は早いです。とにかく親が必要以上に心配しないことです。なんとなかります。

Q: 子供が学校に行きたくないといった場合は、学校はどのように対応するのでしょうか。

A: 皆さんも小学生のときに学校に行きたくないと思ったことはありませんか。体育で逆上がりができないから行きたくない、友達に仲間はずれにされたのがつらいなど、嫌なことがあります。まずは親子で話し合って励ましてあげてください。

しかし、親の力では対応が難しい場合は学校にお知らせください。保護者の方と一



緒に考えていきます。学校には週1回スクールカウンセラーもいます。お気軽にご相談ください。お子さんを育てるのは家庭と学校です。

Q: 本人に勉強や保育園との違いについてどう理解させたらよいですか。

A: そのことは、お子さんによって受け取り方が違うと思います。一番お子さんを理解しているのは、保護者の方です。ご自身の経験も踏まえて、勉強や学校のことを語っていただけると助かります。